総合的な学習の時間　学習指導案

日　時　　令和８年２月 25 日（水）
　　第５時間目 13:20～14:05
対　象　　４　年　　組　　名
学校名
指導者
会　場　　４年　組　教室

１　単元名

「小平のみりょく発信！」～小平グリーンロードの自然を守ろう～（地域）

２　単元の目標

小平グリーンロードを題材に、体験活動や地域の人々との関わりを通して地域のよさや課題に気付き、その気付きを基に探究課題を設定して調べ、整理・分析したことを相手意識をもって発信する力を育成する。また、探究の過程や成果を振り返り、地域の人に向けて発信した経験を基に、地域の一員としてよりよい地域づくりに関わろうとする態度を養う。

３　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　小平グリーンロードの特徴や役割、これまでの歩みについて、資料調査や体験活動の結果を通して理解している。 ②　小平グリーンロードの管理や保全に携わる人々の思いや願いを理解している。 ③　探究活動に必要な情報を得るために、見学、体験、インタビュー、アンケートなどの方法を適切に用いている。 ④　調査や体験活動の結果を記録や資料としてまとめるための基本的な方法を身に付けている。	①　地域のよさや課題に着目し、体験活動などを通して問題に気付き、探究課題を見いだしている。（課題の設定） ②　課題解決に向けて、目的に応じた方法を選択し、必要な情報を収集している。（情報の収集） ③　集めた情報を比較・分類・関連付けるなどして、価値や意味を見いだしている。（整理・分析） ④　相手や目的を意識し、地域の魅力や自分たちにできることを分かりやすく表現するとともに、学んだことを次の学習や生活に生かそうとしている。（まとめ・表現）	①　体験活動や協働的な学習において、目的を理解し、他者とかかわりながら意欲的に取り組んでいる。 ②　他者の考えを受け止め、自分の考えを見直そうとしている。 ③　探究活動を振り返り、発信活動を通して身に付いた力や学んだことを今後の生活や地域との関わりに生かそうとしている。

４　指導観

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　総合的な学習の時間編　第３章　第２　各学校において定める目標及び内容

３　各学校において定める目標及び内容の取扱い

(5) 目標を実現するにふさわしい探究課題については、学校の実態に応じて、例えば、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題、地域の人々の暮らし、伝統と文化など学校の特色に応じた課題、児童の興味・関心に基づく課題などを踏まえて設定すること。

を受けて設定した。

本題材「小平グリーンロード」を対象とした探究的な学習は、身近な地域を教材として、児童が自ら気付き、課題を設定し、調査・体験を通して理解を深め、得られた情報を整理・分析し、まとめ・表現するという探究の一連の過程を経験する上で極めて有効である。

小平グリーンロードは、自然環境の保全、地域の歴史や人々の思いや現在の利用のされ方など、複数の視点から捉えることができる題材であり、資料調査や体験活動を組み合わせることで、多面的・総合的な理解を促すことができる。本題材を通して、地域の実態を理解するだけでなく、調べ方や整理の方法といった探究を支える基礎的な知識・技能を身に付けさせ、主体的な探究へとつなげたい。

(2) 児童観

総合的な学習の時間に関するアンケート結果から、本学級の児童は、身近な地域や自然に関心をもち（96%）、体験的な活動を通して学ぶことに意欲的である（80%）。また、児童同士で協働しながら学習を進めることへの意欲も高い（80%）。一方で、収集した情報を整理・分析したり、根拠を基に考えをまとめたりすることに課題が見られる（76%）。さらに、考えたことや明らかになったことを相手に伝える表現・発信に対して苦手意識をもつ児童も一定数いる（52%）。その反面、多様な方法で調べたり、発信したりしてみたいという意欲をもつ児童も多い（79%）。

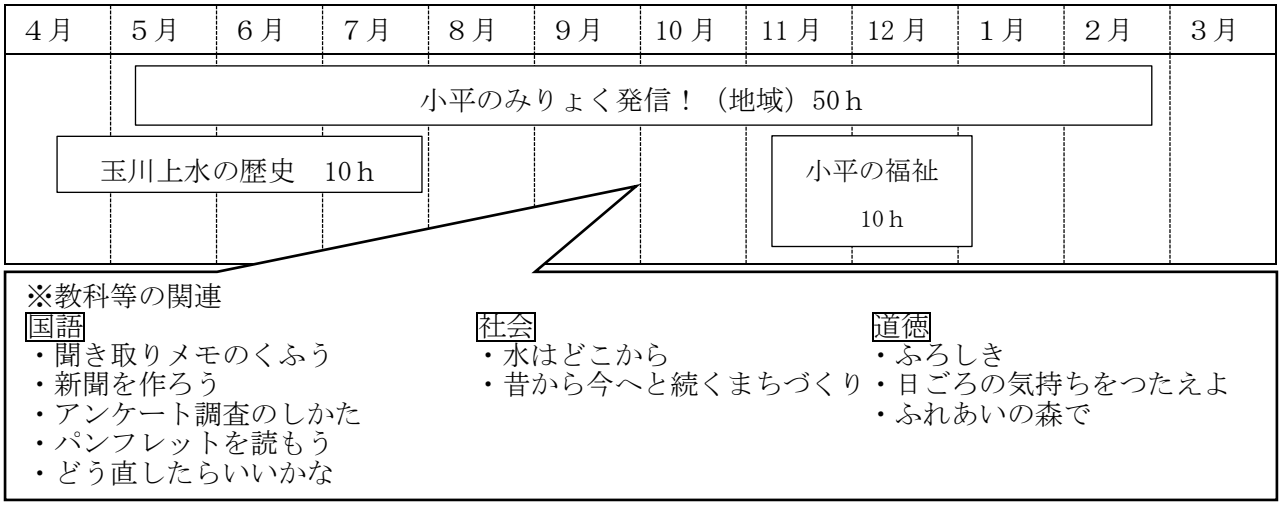
これらの実態から、本単元では体験活動を重視しつつも、探究の目的を明確にし、「何を明らかにするのか」「どのように整理・分析すればよいのか」といった探究の過程を意識させながら学習を進める必要があると考えた。また、児童の興味・関心の高い地域教材を活用し、協働的な活動を継続的に位置付けることで、長期に渡る学習においても意欲を維持し、安心して探究に取り組めるようにしたい。本題材では、情報の収集から整理・分析、まとめ・表現までの活動を段階的に設定し、児童が探究的に学ぶ力を着実に身に付けられるようにする。

(3) 教材観

小平グリーンロードは、児童の生活圏内に位置する身近な地域教材であり、実際に見たり歩いたりする体験活動と資料調査とを関連付けて学習を進められる点に題材としての価値がある。地図や写真などの資料に加え、グリーンロードの保全や活用に携わる地域の方々と直接関わり、話を聞く体験を通して、多様な立場から情報を収集することができる。

また、アンケートや聞き取り、体験活動など複数の方法で得た情報を比較・分類・関連付けながら整理・分析する活動を設定することで、探究に必要な情報活用の力を具体的に育成することができる。さらに、調査結果をグループで共有し、考えを深め合う活動を通して、安心感のある協働的な学習環境を構成しやすい。加えて、児童は地域の魅力を知り、誰かに伝えたいという思いをもっている。本題材である小平グリーンロードは、自然豊かな小平を象徴する存在であり、その魅力や課題を探究し、相手意識をもって発信する活動は、学んだことをまとめ・表現する力の育成に適している。以上の点から、本題材は児童の実態に即し、探究の過程を繰り返し経験させることができる教材であると考える。

5　年間指導計画における位置付け



6　単元の指導計画と評価計画（全 50 時間）

時間	目標	○学習内容　・学習活動	●評価規準 （評価方法）
第１時 第２時	１　地域のよさに着目し、探究課題についての見通しをもつ。	○　学習課題を検討する。 ・　４年生の学習の見通しをもつ。 テーマ：小平の魅力を発信して、よりよい街になるように自分たちができることをしよう。	●イー① （発言・観察・ノート）
第３時		○　学習の計画を立てる。	
第４～７時 第９～12時	２　探究課題の解決に必要な小平の場所や物事について、情報を集める。	○　調べたいことを出し合い、情報を収集する。 ・　小平の物事について、グループで本やインターネットで調べる。	●イー② （発言・観察・ノート）
第８時～ 第 13 時	３　集めた情報を比較・分類・関連付け、価値や意味を見いだす。	○　これまでに集めた情報を整理・分析する。 ・　情報を出し合う。（拡散） ・　共通点や相違点を基に整理する。（収束）	●イー③ （発言・ノート）
第 14 時	４　小単元１を振り返り、今後の見通しをもつ。	○　まとめたことを学級内で交流し合う。 ○　今後の学習の見通しをもつ。	●ウー① （観察・ノート）

第15時 第16時 第17時	1　体験活動を通して地域の特徴や役割に気付き、探究課題の見通しをもつ。	○　小平グリーンロードについて知る。 ・　身近な小平グリーンロードで行われているイベント等を知り、興味関心をもつ。 ・　こだいら観光まちづくり協会の方々から、小平グリーンロードについて聞く。 ○　話を聞いた感想や実際に感じたことを共有する。 ○　実際に散策してみて、魅力を探す。	●アー①② （発言・観察・ノート） ●イー① （発言・観察・ノート）
第17時		○　学習課題を検討する。 ・　感じた魅力を共有し出し合う ・　学習の見通しをもつ。 ・　学習の計画を立てる。 テーマ：小平グリーンロードがよりよくなるには、なにができるか考えよう。	
第18時 第19時 第20時 第21時 第22時	2　課題解決に向けて、目的に応じた方法を選択し、情報を集める。	○　情報を収集する。 ・　課題に対する認知度を知るため、アンケートを作成する。 ・　玉川上水の緑を守る会のお話を聞く。	●イー② （発言・観察・ノート） ●アー③ （発言・観察・ノート）
第23時 第24時 第25時		・　アンケートを配布する。 ・　アンケートの結果を確認する。	
第26時 第27時 第28時	3　集めた情報を比較・分類・関連付け、価値や意味を見いだす。	○　これまでに集めた情報を整理・分析する。 ・　アンケートで分かった情報を出し合う。（拡散） ・　アンケートの回答者や守る会の小平グリーンロードへの思いの共通点や相違点を基に整理する。（収束）	●イー③ （観察・ノート）
第29時	4　小単元２を振り返り、今後の見通しをもつ。	○　今後の学習の見通しをもつ。 ・　見出した共通点から、どのようなグリーンロードになったらいいかを考える。	●イー④ （ノート・発言） ●ウー③ （観察・ノート）
第30時 第31時 第32時	5　課題解決に向けて、目的に応じた調査方法や役割分担を考え、見通しをもった活動計画を立てる。	○　学習の計画を立てる。 ・　誰に発信するのか。 ・　どのように発信するのか。 ・　何を、何のために発信するのか。 テーマ：小平グリーンロードのよりよくするためにできることを発信しよう。	●イー② （計画シート・話合いの様子）

第33時 第34時 第35時 第36時 第37時	1　相手や目的を意識し、地域の魅力を伝える方法を考え、準備する。	○　発信方法を考える。 ・　ポスター等で宣伝する。 ・　スライド等で保護者や校内に発表する。 ・　理想のグリーンロードを描いて、関わってくれた方々へ報告会を行う。 ○　発信する方法を学ぶ。	●イー④ （ノート・発言）
第38時 第39時 第40時 第41時 第42時 第43時		○　発信する準備する。	
第44時 第45時 第46時 第47時 第48時	2　表現内容を見直し、よりよい伝え方に改善する。	○　準備したことを共有する。 ○　共有したことを基に改善する。 ○　リハーサルする。	●イー③ （発言・ノート） ●ウー② （観察・ノート）
第49時 （本時） 第50時	3　相手や目的を意識し、これまでの探究活動を通して整理･分析してきたことを基に準備してきた発信内容を実行するとともに、活動を振り返り、学んだことを今後の生活や地域との関わりに生かそうとする。	○　発信準備したものを実行する。（本時） ○　単元全体を振り返る。 【振り返りの視点】 ・　どんな力が身に付いたか。 ・　協働してできたことは何か。 ・　活動を通して気付いたことは何か。など	●アー④ （ノート・発言） ●ウー③ （観察・ノート）

7　指導に当たって

班の第３期のテーマ：「児童が探究課題の解決を目指す学習計画の作成」

本単元は、総合的な学習の時間における探究の過程「問題の発見 → 課題の設定 → 情報収集 → 整理・分析 → まとめ・表現 → 振り返り」を繰り返し往還しながら児童が自ら課題を見いだし、その解決を目指して学習計画を立案・実行することを重視する第３期の学習として位置付ける。

(1) 単元づくりにおける手だて

ア　課題との出会いの工夫

写真・地図・体験談など複数の資料を関連付けて提示し、児童が地域のよさや現状に触れる中で「なぜだろう」「このままでよいのだろうか」といった疑問をもつことを通して、問題を発見し、自分事として課題の設定につなげられるようにする。

イ　児童の思いや言葉を生かした課題の設定と計画化

児童一人一人の気付きや疑問を共有し、それらを基に話合いを行うことで探究課題を明確にし、活動の目的やゴール、学習の流れについて合意形成を図りながら学習計画を立てる。

ウ　地域の人材を生かした交流の場や体験活動の充実

インターネットや書籍による調査に加え、小平まちづくり観光協会、市の産業振興課、玉川上水の緑を守る会など地域の人材との交流や散策体験を行い、多様な立場から情報を収集することで、課題解決に必要な情報を主体的に集められるようにする。

(2) １単位時間内の手だて

ア　学習の目的を明確にした指導

探究の過程（問題の発見～振り返り）を掲示物等で可視化し、本時の活動がどの過程に当たるのかを確認させることで、学習の意味や目的を意識して活動できるようにする。

イ　既習事項が想起しやすい導入

前時の板書の記録写真や実際に取り扱った具体物を活用することで、既習内容やその時に感じたことをイメージしやすくする。

ウ　児童一人一人の考えを明確にさせるためのグループ活動

何をすればいいか分からない児童や、自分の考えに自信がもてない児童も考えが明確になるように、グループ活動を取り入れ、学習の取りこぼしを防ぐ。

エ　児童の言葉をつなぐファシリテート

児童同士の言葉や全体の総意の確認など、児童の思いや考えをつなぐように発問や問い返しをする。

８　本時（全 50 時間中の第 49 時）

(1) 本時の目標

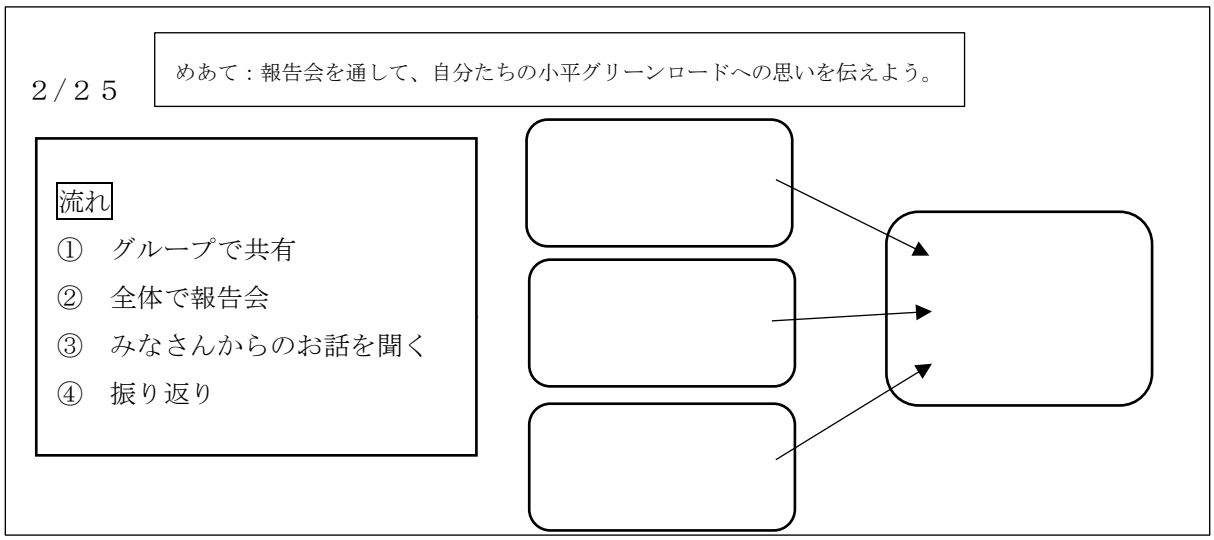
相手や目的を意識し、これまでの探究活動を通して整理・分析してきたことを基に準備してきた発信内容を実行するとともに、活動を振り返り、学んだことを今後の生活や地域との関わりに生かそうとする。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容　・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準（評価方法）
導入 ５分	○　前時の振り返り ・　学習計画表や写真を見てこれまでの活動を振り返る。	・　学習計画表や活動の写真を活用して、前時まで想起し、本時がまとめ・表現に当たることを確認する。	

	○　めあての確認	・　めあてでは「誰に」「何を」「何のために」発信するのかを意識させる。	
	めあて：報告会を通して、自分たちの小平グリーンロードへの思いを伝えよう。		
展開 30 分	○　流れの設定 ○　グループごとに探究課題に対する考えや提案を相手意識をもって発表する。 ○　ゲストティーチャーからの講評を聞く。 ・　小平まちづくり観光協会 ・　市の産業振興課 ・　玉川上水の緑を守る会	・　全体で流れを確認する。 ・　発表内容が課題の設定や情報収集の結果と結び付いているかを問い返す。 ・　相手に伝わった点・伝わりにくかった点を確認し、振り返りにつなげる。 ・　自分たちの考えや表現のよさ、改善点を考えながら講評を聞くようにする。	
まとめ・ 振り返り 10 分	○　本時の振り返り ・　全体での振り返り ・　個別での振り返り	・　全体で板書を確認し、どのようなことを感じたかを確認する。 ・　振り返りの視点を明確にした上で書かせる。	ウー③ 探究活動を振り返り、発信活動を通して身に付いた力や学んだことを今後の生活や地域との関わりに生かそうとしている。（発言・ワークシート）

(3) 板書計画



(4) 授業観察の視点

・　本時の学習内容が目標を達成する活動になっていたか。